

○公園サポーター募集！

27年度も「公園サポーター」を募集します。みんなでわいわい楽しみながら、一緒に活動しませんか？
「公園サポーター」は、公園整備を助けてくれる有償ボランティアです。こどもの森ゾーンで畑仕事を中心に活動し、季節の野菜を育てています。



期間：4月～11月ごろまで
月1～3回程度
(参加できる回だけで大丈夫です！)
時間：10～12時
内容：畑仕事、草刈り、イベント補助など。

※活動期間、時間、内容共に都合により変更することがあります。

イベント報告

3月7日(土)
～8日(日)

食べてきれいに女子力アップの旅



「食べてきれいに」をテーマに丹後の海の幸・山の幸を味わって、女性のきれいを応援！
丹後の春の味覚であるわかめを採ったり、地元のお母さんにこんにやく作りを教わってもらったり、たくさんの郷土料理を作り、味わいました。
翌朝はノルディックウォーキングを教わってもらい、美しい姿勢の大切さを実感。
自然豊かな丹後での体験を通して「こころ」と「からだ」を見つめ直す、最高の自分磨きの旅になりました。

どんぐりようちえん & うみほしクラス

通年



一年を通して実施した自然体験も3月で終わりを迎えました。
その「どんぐりようちえん」は、森歩きや、パンづくり、田植えや植樹など、いろいろな初めてのことにチャレンジをして、成長が見られた2年でした。
その「うみほしクラス」は、「森づくり」をテーマに、けもの道のような所から、自分たちで道を考え、伐採・伐根をして散策道を作りました！
この2つの体験は26年度で終了となります。今後は、毎月1回実施する「うみほしD&D」により幅広い年代の方が自然と触れ合えるような仕組みを作っていきます。お楽しみに！

umihoshi
丹後 海と星の見える丘公園

うみほし通信



2015
vol.61 春

ミツバチのささやき、
そつとつながる命のいとなみ。



umihoshi information

アクセス



- 京都縦貫自動車道経由「宮津・天橋立IC」から
国道178号線を伊根方面へ約25分
京都駅・大阪駅から約2時間強
- 北近畿タンゴ鉄道「天橋立駅」から丹海バスで伊根方面へ約40分
「波見口」バス停下車徒歩約30分(約2km)
- 「海と星の公園下」バス停下車徒歩約15分
(風の谷に続く急な山道です)

編集後記

まちに待った春が来ました。うみほし公園も始動です。冬の間、雪に覆われてまっしろだった公園も色を取り戻し始めました。

皆さんの思われる、うみほし公園の色って何色でしょうか？

おそらく、木々の「緑」という意見がほとんどだと思います。でもその緑も、芽吹き、の薄い黄緑から新緑の鮮やかな緑、そして盛夏に向けてその濃さは増していきます。一口に「緑」と言っても、そう様々な緑があるんですね。

また、うみほし図鑑でも紹介しているように園内にはたくさんの植物が生えています。そうした植物、特に草花たちも黄色や青色など鮮やかな色彩を持っています。そしてそこに集まる生き物たちも色を持っています。ミツバチの黄色や、ハッチョウトンボの赤を始め、まさしく色とりどりです。

真っ白な世界から一気にカラフルな装いへと変身する、春のうみほし公園へ是非来て下さいね。

編集人 あっしー

問合せ・申込み

京都府立丹後海と星の見える丘公園

開園時間 9:00～17:00 ※7月～9月は20:00まで
休園日 木曜日(祝日除く)及び年末～2月末 ※7月～9月は無休
入場料無料／駐車場 200台(無料)
※1月～2月は閉園しております。

〒626-0211 京都府宮津市字里波見
TEL.0772-28-9111 / FAX.0772-28-9025
✉ e-ds@eco-future-park.jp
http://www.eco-future-park.jp

うみほし通信発行
公園指定管理者



umihoshi

イベント日程

●「アースデイ丹後2015」

「アースデイ」は地球に感謝し、美しい地球を守る意識を共有する「地球のために行動する日」です。世界各地で開催され、豊かな自然が残る丹後の地で初めて開催されます。

丹後の食や地域、環境の分野で活躍する実行委員会メンバーが中心となり、様々なワークショップや自然体験、フードブースやミュージックライブなどを通して、地球や地域について楽しく考えていくイベントです。

第1回目のテーマは、「地球を まるっぽ いただきます!」(「まるっぽ」は丹後地域の方言で「丸ごと」などの意味)

地球が生み出すたくさんの自然の恵み。野菜や魚介類などの食材、薪・炭などのエネルギー……。自然豊かな丹後でそれらの恵みを少しずついただいて、自然で遊び、自然に学びましょう！



5/3(日)～5(火・祝) 10:00～16:00

夜の部 5/4(月・祝) 18:00～21:00(予定)

入園料:無料 体験料:一部有料(各プログラム毎に異なる)

■ワークショップエリア

- ・森のワークショップ・漂着物アート
- ・廃油キャンドル作り
- ・ロケットストーブ作り
- ・ヨガ など



■フードエリア

- ・石窯パンづくり
- ・巨大鉄板パエリアなど



■ステージエリア

- ・ミュージックライブ
- ・パンブータワー
- ・丸太切り選手権など



他にも自然を感じるブースが盛りだくさん!

※内容が異なる場合があります。

※各内容の実施日については公園HPをご覧ください。

●「うみ☆田んぼキッズ」

みんなで手植えをしよう! 普段食べているお米ってどうしてできるのかな?

5/16(土)～17(日)

※17(日)の田植えのみの参加もあり

参加費:小学生 8,000円 中学生 10,000円

17(日)のみ参加の場合 800円(昼食代)

定員:20名

対象:小学生以上

募集期間:

5/8(金)迄





ゆるちゃんの森づくり日記

2月26日

「道具のメンテナンス」

公園が休園している間は、春に向けて道具のメンテナンスをします。まるで一年の垢を洗い落すようにカマやナタを砥石で磨き、新聞紙がスパッと切れるくらいまで仕上げます。

道具のメンテナンスは一年を振り返る良い機会です。

春からまた森づくりが始まります。どんな出会いがあるのか楽しみです！＼(＾o＾)／



里波見 カントリー フレンズ



皆さん、こんにちは。

里波見カントリーフレンズで～す♡

公園の地元(里波見)で活動をしているおばさん達の集団です。

そんなおばさん達が森のカフェを切り盛りすることになりました。カフェなんて誰もが初めてのこと。でも、おいしい野菜もある、おいしい魚もある、そして、うみほし公園のおいしい空気もある。「こりゃ、やるっきゃないでしょう。」皆さんがホットできる場所になったらな～と思っています。

地元産にこだわった野菜、魚を使った軽食やおいしいコーヒー、紅茶、また、近い将来にはお弁当も作りたいです。

いつぺん、来て～よ!



森のCafe

うみほし図鑑

五感

春のうみほし公園は、きれいな花が公園を彩ってくれます。花だけでなく、生き物たちは寒い冬を乗り越えて元気に活動し始めます。ただ花を見て楽しむだけではなく、五感をフルに使って「見て・聴いて・触って・嗅いで・味わって」春を楽しむ参考にしてみよう!

見る watch

探してみるとたくさんあるよ!

色も形も様々な花を見て楽しもう!



ショウジョウバカマ



マンテマ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ

聴く listen

ほら、耳を澄ませてごらん。

いろんな鳴き声が聴こえてくるよ!



モリアオガエル

普段は森に棲んでいて木の上に卵を産むよ!どんな鳴き声で鳴いているかな?



シジュウカラ

触る touch

似たような花でも種類が違う。

触ってみると違いが分かることもあるよ!



ハルジオン



ノアザミ

葉っぱはトゲトゲで痛いけど、花の下の方の部分を触ってみよう!

嗅ぐ smell

花や草はいろんな匂いがするね!

自分の好きな匂いを探してみよう。



キリ



スミレ



ドクダミ

味わう taste

おいしく食べられる

草や花がたくさんあるよ!



ヤブツバキ
花の天ぷらがオススメ!



セイヨウタンポポ
葉っぱでサラダがオススメ!

食べてはいけない草花もあるから気をつけよう!



ハンモック



ツリーハウス



森のカフェ

アースバックハウス

「うみほし公園 こどもの森の遊び方」

なにもないけど、あそこに行けばなにか楽しい場所。そんな場所を目指しています。

か?

さらに、森の中をのんびり散歩するのも遊び方の一つです。こどもの森周辺には、いくつもの小道があります。季節ごとにいろんな生き物に出会うことができ、中にはめずらしい昆虫や植物もいます。体験プログラムでは、スタッフと一緒に森を歩く「ガイドウォーク」もあります。自然の不思議に触れてみませんか?

三つ目はハンモック。鳥のさえずり、風に揺れる葉っぱの音を聞きながらひとやすみ。森の中でゆったりしたいときにおすすです。いつも同じ場所にあるとは限りません。いつもの場所になくときは森の中に探しに来てください。

ふたつ目はアースバックハウス。フランス人アーティストとうみほし公園に来た人たちが、みんなで作ったおうち。アースバックハウスのちっちゃな入口は、子どもたちにとって大冒険の入口。勇気を出して中に入ってみると、おうちの正体が分かります。おうちから出ている竹の筒でも遊んでみてね!

ひとつ目はツリーハウス。「木の上に家があるんやでー登ったら何が見えるのかな?」近くまで行くと、こどもたちは興味津々です。こどもだけでなく、大人も気になるツリーハウス。こどもの森からさらに森の中に行くことができます。なにが見えるかは登ってからのお楽しみ!

こどもの森には、遊具はないけど自然を使った遊び場があります。今回は、3つの遊び場を紹介します。

自然に学び、自然を遊ぶ

題字 へるも

うみほし通信

2015

vol.61

春